



>> E+ PROJECT REPORT

日本モンキーパーク「モンバラ」



日本モンキーパーク 「モンパラ」



世代を超えて“遊び”を共有できる ファミリー向けの ファンワールドを構築

「日本モンキーパーク」(愛知県犬山市)を運営する(株)名鉄インプレスでは、3月15日、遊園地と世界サル類動物園(日本モンキーセンター)の中間にあたる敷地約5,830㎡を活用してキッズ向けの新しい遊園ゾーン「モンパラ」をオープンした。

日本モンキーパークは、74種650頭のサルを集めた世界屈指のサル動物園と、さまざまなアトラクションや

キャラクターイベント、レジャープールなどファミリーで楽しめる遊園地からなる総合レジャー施設として、1960年の開園以来(注)、長年にわたって地域に親しまれてきた。今回、モンパラが開設された場所は、もともとはサルに関する展示施設が置かれた広場となっていたところで、子どもにとっては親しみにくい性質のものであったこともあって、両園の利用の連動性がうまく機能していな



1.-----
小さな子供連れの家族がともに楽しめるキッズゾーンとして整備されたモンバラ。ピピッドトーンのカラーリングが楽しさを効果的に演出している

2.3.4.-----
動物をデザインした乗り物アトラクション「Zoo Zootレイン」。既存の物販店舗を発着ターミナル駅としてリニューアルし、「駅舎」内にはショップも設けられている(定員14人)



5.6.-----
大きなパイナップルに見立てた乗りかごが空中で回転する「ビッグパイナップル」(定員32人)

7.8.-----
バナナ畑をイメージし、サルとバナナがデザインされた「GO!GO!バナナコースター」(定員12人)



かった。そこで、遊園地と動物園とを有機的につないで両園の連動利用を促進するブリッジの役割を果たすエリアを設けることで、総合的な利用の促進を促す狙いで計画されたもの。

名称となっている「モンバラ」は、“モンキー、キッズ、パラダイス”を略した愛称として名づけられたもので、新キャラクターである「モンパ君がおもちゃ箱をひっくり返してきた遊びの楽園」をコンセプトに、幼児が保護者とともに安全かつ楽しく遊ぶことのできるエリアとして、明るさ溢れる色彩に彩られた空間が構築されている。

新規アトラクションとしては、サルとバナナをデザインしたミニコースター「GO!GO!バナナコースター」、パイ

ナップルに吊り下げられたライドボックスが空中で回転する「ビッグ・パイナップル」、動物をデザインした「Zoo Zootレイン」3機種が導入され、森をイメージしたアスレチック型ボールプール「モンキッズ・ジャングル」と軽飲食を提供する「モンパカフェ」を併設した室内施設である「モンキッズ・フォレスト」が新たに設けられたほか、既設の商品販売店「アリスショップ」をZoo Zootレインが発着する「チャチャチャステーション」(ショップ併設)に改装、既設のアスレチック施設「ニルスの冒険ランド」もリニューアルされた。

また、モンバラのイメージモニュメントやキャラクターをデザインしたチェア、カラフルな色使いのベンチを設置



施設の有機的な運動性を高め、長時間滞在にふさわしい新たな魅力を創出



(株)名鉄インプレス
取締役社長
山崎隆治氏

当園は遊園地と動物園を有するという独自性の高い施設ですが、お客さまに両方の施設を回遊して施設全体で楽しんでいただくための有機的な運動性が求められていました。そこで、中間ゾーンにあたる当エリアを遊園地ゾーンの延長線として魅力ある開発を行なうことで、遊園地に来られた方が動物園にも足を向けていただけるような環境づくりができればと考えました。これまでにない遊びの楽園にしたいと、アトラクションはもとより環境デザインにもこだわり、お子さんたちが時間を忘れて遊べ、保護者の方々に遊んでいるお子さんたちを温かく見守っていただけるようベンチなどを整備し、軽食やドリンクも提供できるように設計しています。これによって入園者数を大幅に増やすというよりも、年間80万人程度を安定的に集客し、長い時間滞在していただくにふさわしい内容の充実を回り、安全かつ健全な遊園地として新たな魅力を発信できればとの思いを込めています。



ターゲットにふさわしい“環境づくり”をコンセプトに テーマに沿った賑やかで楽しい雰囲気の創出を図る



泉陽興業(株)

常務取締役
高殿 修氏

「モンパラ」の総合プロデュースを担当するにあたり、第一に提案させていただいたのは、“環境づくり”でした。「環境」はこれからの遊園地に共通して求められる最も大切な要素だと考えていますが、今回も、まずターゲットに合わせてそれぞれにふさわしい環境を構築していくことでゾーン分けを明確にしていく。その前提に立って、新しく開発するゾーンは小さな子どもに向けたファミリーゾーンと位置づけ、子どもが好きな原色をベースにした賑やかで楽しいカラーリングで環境づくりを行なっています。アトラク

ションもテーマと環境に合わせて一つひとつオリジナルでデザインし、サイン類やベンチ等も含めて環境全体の統一化を図っています。同時に、子どもと一緒に記念撮影のできるピクチャースポットを数多く設けることで、楽しかった思い出として記録にも記憶にも残していただくことができます。そういう環境をきちんと整備すれば、滞留時間は延びますし必然的に消費単価も高まる、そしてまた来たいという気持ちをお客さまの中に芽生えさせることにつながるのです。



ボールプレイとアスレチックの要素を融合し、 アトラクティブな楽しさで子どもたちの遊び心を喚起



阪和興業(株)

機械部 レジャー施設課 課長
荒木 和成氏

今回、モンキッズ・ジャングルの企画・設計・施工を担当させていただきました。このボールを使って遊ぶ室内遊戯空間は、もともとはアメリカで児童心理・行動学の研究用に開発されたもので、その環境に最もふさわしい機能性と遊びの要素を盛り込んで設計されています。ここでは、空間スケールを効果的に活かすために、「島」に見立てた4つのデッキを設定し、各デッキの高さに変化をもたせるとともに、それぞれをネット遊具や吊り橋で繋いで子どもたちがアスレチックのように体を動かして移動できるように仕組みを構築しました。これにより、子どもたちの目には実際以上に広がりのある空間として

認識され、しかしながら親の目には見通しのよい、安全で安心な空間として存在し、子どもたちは運動しながら「島」を渡っていくことで“達成感”をも感じてもらえる内容になっています。アクションを起こすことで何らかの反応が生じるようなインタラクティブな仕組みの遊具を多彩に盛り込むなど、単なるボール遊びにとどまらない、子どもたちの心を引き付ける魅力溢れる空間を創造しています。親子で一緒に遊べるインタラクティブボールプレイであるボールギャラリーと、4歳以下の幼児用ソフトフォームエリアのコンビネーションで、幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけるアトラクションになっています。



するなどビジュアル的にもテーマ性を明確に打ち出したものとなっている。

とりわけモンキッズ・ジャングルは、室内面積120㎡のなかに1万個以上のクッションボールや多彩な遊具が盛り込まれ、子どもたちが能動的に遊べる施設として人気を集めており、親子で一緒に遊ぶ姿も珍しくない。また4歳未満の幼児を安心して遊ばせることのできるゾーンも併設されているので、年齢にかかわらず遊ぶことができるほか、雨天時や夏季の炎暑時など天候に左右されずに楽しむことができるのも大きなメリットといえよう。

また、リニューアルされたアスレチックゾーンも含めて休憩するためのチェアやベンチ、テーブルを数多く設置

しており、天気の良い日にはお弁当を広げる光景も見られるなど、ファミリーが気持ちよく過ごせるよう細やかな配慮がなされている。

日本モンキーパークでは、モンパラの開設は1日を有意義に過ごしてもらうための魅力づくりであるとともに、園内の回遊性が高まることで施設全体が活性化することを期待している。

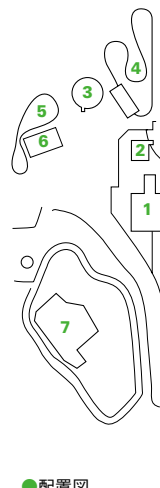
(注)日本モンキーセンターは、財団法人として1956年に設立されており、今年50周年を迎える。モンパラは、その50周年事業の一環としても位置づけられており、遊園地に遊びに来た利用者に動物園の存在を一層訴求していきたいとの考え方に立っている。



9~14.....
最近、キッズ向けの遊具として注目されているのが、このボールギャラリを活用した大型遊戯施設で、モンキッズ・ジャングルでは、単にボールを使って遊ぶというだけにとどまらず、吹き出す空気力でボールが浮き上がるエアテーブルや、クッションボールを打ち出すキャノン砲、一定量になるとボールが上から滝のように降り注ぐティッピングバスケットなどの多彩なボール遊具が設置され、ネットなどを伝ったりデッキを渡り歩いたりといったアスレチック的な要素が盛り込まれている点が特色。遊んでいて疲れないようカラーリングにも工夫が施されている。4~8歳がメインターゲットと設定されているが、それ以上の年齢でも、また親子と一緒に遊んでも楽しめる施設として人気が高い。1回400円で、時間による入替え制となっている。
ボールギャラリーエリア手前には、ソフトフォームでつくられた4歳以下の幼児を遊ばせるためのゾーンがあり、カウンター席やベンチから遊んでいる子どもたちを見守ることができる。



15.....
中央に設けられたモニュメントは格好の記念撮影の場でもある。新キャラクターの「モンバ君」も着ぐるみで登場
16.....
軽食やドリンクをメインに提供する、「モンキッズ・フォレスト」内の「モンバカフェ」。屋外にウッドテラスが設けられ、休憩できるテーブル席が置かれていて、室内で遊ぶ子どもたちの姿を見守ることもできる
17.....
既設の子供向けアスレチック「ニルスの冒険ランド」もリニューアルされ、「モンキッズ・アドベンチャー」へと名称変更された。またトイレと授乳室を新設したほか、既設トイレを子ども用に改装している



プロジェクト概要

- 施設名称/
日本モンキーパーク「モンバラ」
- オープン/
2006年3月11日
- 所在地/
愛知県犬山市大字犬山字官林26
- 連絡先/
0568-61-0870
- 事業主体/
㈱名鉄インプレス
- 総合プロデューサー/
泉陽興業㈱
- アトラクション設計・施工/
泉陽興業㈱
- モンキッズ・ジャングル企画・設計・施工/
阪和興業㈱
- 施設面積/約5,830㎡
- 施設内容/
室内施設「モンキッズフォレスト」:
「モンキッズ・ジャングル」「モンバカフェ」
アトラクション:「ビッグパイナップル」
「GO!GO!バナナコースター」
「ZooZooトレイン」
- 利用料金/モンキッズ・ジャングル1回400円(時間制、3歳までは保護者同伴)、ビッグパイナップル1回300円(5歳までは保護者同伴)、GO!GO!バナナコースター1回300円(3歳以上、身長95cm以上)、6歳までと身長120cm未満は保護者同伴)、ZooZooトレイン1回300円(5歳までは保護者同伴)
※日本モンキーパーク入園料:大人(中学生以上)1,500円、小学生800円、幼児(3歳以上)600円
- 営業時間/
10:00~17:00(土日祝日は9:30~)
※7/20~8/31は9:30~18:00、
12/1~2/末は10:00~16:30
- 定休日/なし
- 総工費/約4億円
- 集客目標/
80万人(日本モンキーパーク)



- 1 モンキッズ・ジャングル
- 2 モンバカフェ
- 3 ビッグパイナップル
- 4 GO!GO!バナナコースター
- 5 ZooZooトレイン
- 6 チャチャチャステーション
- 7 モンキッズ・アドベンチャー

●日本モンキーパーク全体図



●配置図







阪和興業株式会社

機械部

レジヤ施設第一課

〒541-8585

大阪市中央区伏見町四丁目3番9号

TEL.06-7525-5142

FAX.06-7525-5302

レジヤ施設第二課

〒104-8429

東京都中央区築地一丁目13番1号

TEL.03-3544-1908

FAX.03-3544-2252

<http://www.hanwa.co.jp/>